



写真：大曲湖畔園地

## 第3章 基本目標ごとの施策と行動

# Ⅰ ゼロカーボンで持続可能なまち

省エネルギーや再生可能エネルギーの導入を推進することで、二酸化炭素を実質排出しない、ゼロカーボンで持続可能なまちを目指します。

## (1) 現状と課題

暮らしのなかで省エネルギーを進める必要があります。

市民が日常的に消費している電気、ガス、灯油、ガソリンなどのエネルギーは、二酸化炭素の排出を伴うもので、直接的に地球温暖化に影響を与えています。

そのため、限られた資源を大切に使用し、地球温暖化への影響を軽減するためにも、市民一人ひとりが自覚を高めながら、身近な日々の暮らしのなかで省エネルギーを進める必要があります。

地元でとれた旬の生産物を消費することが求められています。

網走市は、水産業、農業が盛んなまちであり、これらの地元でとれた旬の生産物を積極的に消費することは、大きな意味での省エネルギーにつながります。

そのため、令和2年(2020年)3月に策定された「第3次網走市食育推進計画」と連動し、地産地消(地元でとれた生産物を地元で消費すること)を進める必要があります。規格外の青果物、畜産物などを見直すことも求められます。

網走の地域性を活かした再生可能エネルギーの活用が求められています。

限られた化石エネルギーを大切に使用し、地球温暖化の防止を図るために、省エネルギーとともに再生可能エネルギーの導入が求められています。

「網走市地球温暖化対策実行計画【区域施策編】」との連動を図りながら、太陽エネルギーやバイオマスエネルギーの活用を推進する必要があります。

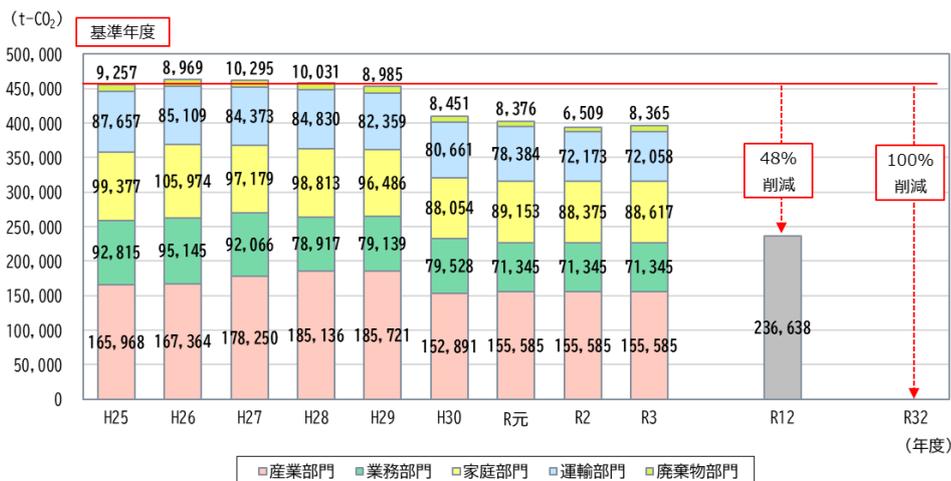


図 3-1 二酸化炭素の排出量の推移

【出典】網走市地球温暖化対策実行計画【区域施策編】

## (2) 基本施策・行動例

### ① 省エネルギーを徹底する

節電・節水・エコドライブなど、普段の生活の中でできる取組はたくさんあります。食品を買う時に地元産のものや旬のものを選ぶ「地産地消」も省エネルギーにつながります。



#### 市民は

- 節電・節水する
- 省エネルギー家電や住宅改修で気密性を向上させる
- LED 照明を導入する
- 自転車や公共交通機関を利用する
- エコカーを選択する
- 急加速・急発進をしないなどエコドライブをする
- 環境に配慮した商品を買う
- 地産地消の商品を買う



#### 事業者は

- 節電・節水する
- LED 照明を導入する
- エネルギー効率の良い設備へ更新する
- ノーマイカーデーを実施する
- エコカーを選択する
- 急加速・急発進をしないなどエコドライブをする
- 環境に配慮した商品を取り扱う
- 地産地消の商品を取り扱う



#### 網走市は

- 市の活動に係る温室効果ガスの削減を図る（省エネ・省資源チェックシートによる管理、LED 照明の導入、気候に適した服装で業務を行うウォームビズ・クールビズ、ノーマイカーデーの実施 など）
- 市民・事業者ができる身近な省エネの取り組みの実践・協力を呼び掛ける
- 公共交通の利便性の向上を図る
- 道路照明、公園照明の LED への更新・維持管理を行う
- 住宅用省エネルギー設備の導入を補助する
- 省エネ改修住宅に係る固定資産税の減額措置を行う
- グリーン購入を実施する
- 「網走市食育推進計画」に基づいた、地域に根ざした食育を行う
- 学校・保育園の給食で地場産品を利用する

## ② 再生可能エネルギーをつくる・使う

網走市の資源や地域特性を生かし、自然・景観との共生を考慮しながら、太陽エネルギーやバイオマスエネルギーといった再生可能エネルギーの活用を推進します。



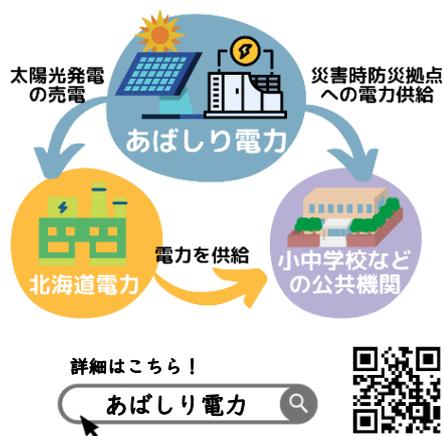
市民は	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 太陽光発電、ペレットストーブなどを設置する</li> <li>● 再エネ電力に切り替える</li> </ul>
事業者は	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 太陽光発電、ペレットボイラーなどを設置する</li> <li>● 再エネ電力に切り替える</li> </ul>
網走市は	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域新電力をはじめ再生可能エネルギーの導入を進める</li> <li>● 住宅用の太陽光発電やペレットストーブの導入を補助する</li> <li>● 公共施設における太陽光発電の導入など再エネ電力を活用する</li> </ul>

### あばしり環境こらむ

#### あばしり電力って知ってる？

令和4年(2022年)4月に、再生可能エネルギーを活用して、二酸化炭素排出量を削減することを目的に、自治体新電力となる「あばしり電力株式会社」を設立し、令和5年(2023年)4月より太陽光発電事業を開始しました。

平常時は、太陽光発電による再エネの安定的な利用、NAS電池を活用した太陽光発電のエネルギーシフトにより、夜間にも太陽光発電で得られた電力を供給、また自然災害などの非常時には、防災拠点へ自営線による電力供給を行うなど、激甚化する自然災害への対応力強化を目指します。



詳細はこちら！

あばしり電力



### あばしり環境こらむ

#### ペレットストーブってどんなもの？

木質『ペレット』は、森林や製材工場などから発生する間伐材・枝・根株・オガ粉などを圧縮して固めた固形燃料です。地球温暖化対策、エネルギーの自給率の向上にも役立つペレットストーブですが、薪を燃やしたときの穏やかなぬくもり、炎による癒し効果をペレットストーブで味わえる魅力もあります。

【設置補助があります】網走市住環境改善資金補助制度



詳細はこちら！

ペレットストーブ 網走



## 2 資源が循環するまち

市民の生活様式（ライフスタイル）の見直しを進めながら、ごみの減量化、再利用、再生利用を図ることで、資源が循環するまちをめざします。

### (I) 現状と課題

できるだけごみを出さない暮らしに変え、ごみに対する認識を高める必要があります。

網走市では、平成 11 年度（1999 年度）からごみの分別収集がはじまり、資源物の回収が進みましたが、ごみの総排出量は北海道の平均よりも若干高くなっています。

一方、最終処分量については、減少しているものの北海道・全国と比べても高い傾向にあり、分別回収による資源化を徹底するとともに、ごみの量自体を減らす意識改革が必要です。

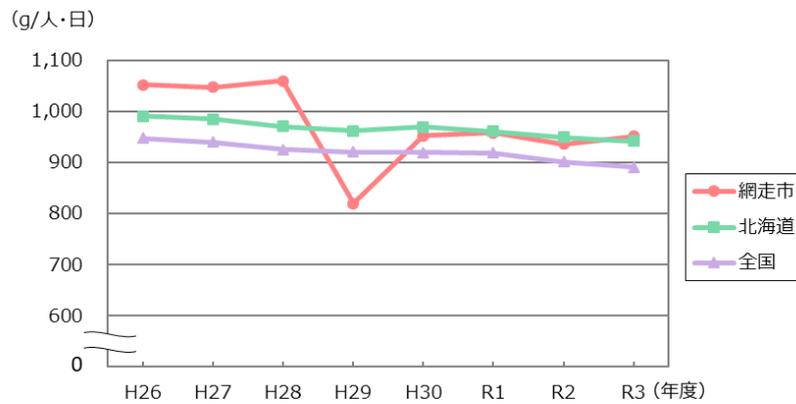


図 3-2 1人1日当たりごみ総排出量の実績<sup>1</sup>

【出典】網走市一般廃棄物処理基本計画書



図 3-3 1人1日当たり最終処分量の推移<sup>2</sup>

【出典】網走市一般廃棄物処理基本計画書

1 1人1日当たりごみ総排出量が多くなるのは、観光地であることが主な理由です。

2 1人1日当たり最終処分量が極端に高いのは、焼却等の中間処理をしていないことが主な理由です。

## (2) 基本施策・行動例

### ① ごみを減らす

身近な生活から出るごみが環境に影響を与えていることを自覚し、ごみの減量を図ります。資源は無限ではないという認識をもって、できるだけ地域のなかで循環させます。



市民は	<ul style="list-style-type: none"><li>● マイ箸、マイカップ、マイボトルを使う</li><li>● 食材は使い切る、食べ残しはしないなど、フードロスを抑制する</li><li>● 生ごみは、できるだけ水切りをしてから排出する</li><li>● まだ使えるものは、人に譲るなどして捨てない</li><li>● レジ袋やサンプル品など不要なら受け取らない</li></ul>
事業者は	<ul style="list-style-type: none"><li>● 過剰包装を自粛し、簡易包装をする</li><li>● 繰り返し利用できる容器・資材等を使用する</li><li>● 飲食店では、「作りすぎない」、「少量メニュー」、「持ち帰りへの協力」を推進する</li></ul>
網走市は	<ul style="list-style-type: none"><li>● ごみ減量化に関わる各種施策（普及啓発や情報提供など）を継続的に推進する</li><li>● 幼少期から資源を大切に作る心の育成やごみ減量を学ぶ機会を作る</li><li>● 市民や事業者が行う3R活動<sup>3</sup>とそのための環境整備を支援する</li><li>● 給食調理に伴う残菜の減量化を行う</li></ul>

---

3 3R活動:不必要な資源や消耗品の使用を最小限に抑え、無駄を減らす「REDUCE(削減)」、物や製品を何度も使用し、廃棄を最小限にとどめる「REUSE(再利用)」、使用済みの物や資源を再生して新しい製品や材料に変える「RECYCLE(リサイクル)」の3つの取組を指します。

## ② 資源を大切に使う

地域で循環させるシステムとして、分別を徹底し、再利用・再資源化に取り組みます。



市民は	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ごみの排出時には、資源物の分別を徹底する</li> <li>● フリーマーケット、リサイクルショップを活用する</li> <li>● 再生資源を使ったりリサイクル製品を選択・購入する</li> </ul>
事業者は	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ごみの排出時には、資源物の分別を徹底する</li> <li>● 資源物をリサイクル業者へ引き渡す独自の回収ルートを確認する</li> <li>● 事務用品は、グリーン購入<sup>4</sup>等、環境配慮型製品を選択する</li> </ul>
網走市は	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 資源物のリサイクルの流れについて周知することで、市民の分別意識を醸成する</li> <li>● 資源物集団回収の広報や支援を行う</li> <li>● リユース展を開催する</li> </ul>

## あばしり環境こらむ

## 食べ残しを減らす運動を実施しています



網走市では、ごみの減量化に向けた取り組みの一つとして、外食や宴会などで出る食べ残しを減らす運動を実施しています。

この取り組みを通じて、市民のみなさまに「ごみ減量化」や「もったいない」という意識のきっかけとなるように働きかけを行っていきます。

詳細はこちら！

網走 食べ残し



4 グリーン購入：環境への配慮や持続可能性に焦点を当てた商品やサービスの選択、購入手続きのことで、商品やサービスの製造・提供段階から廃棄段階までの環境への影響を最小限に抑え、地球環境への負荷を低減することにつながります。

### 3 人と自然が共生するまち

湖沼、河川、海辺、森林といった網走の多様な自然環境と、人の暮らしのバランスをとりながら、人と自然が共生するまちの実現をめざします。

#### (1) 現状と課題

水辺の保全と利用のバランスをとることが必要です。

網走湖と網走川は、網走のシンボルとして親しまれ、シジミやワカサギは北海道一の漁獲量となっています。一方で、網走湖では、有機性汚濁や栄養塩類の指標が基準値を超えています。漁業生産とのバランスをとりながら、水質を改善することが必要です。

網走川やオホーツク海などの水辺では、散乱するごみの削減や、汚濁負荷の減少などの対策によって、水辺で遊べるきれいな海岸を復活させることが求められています。

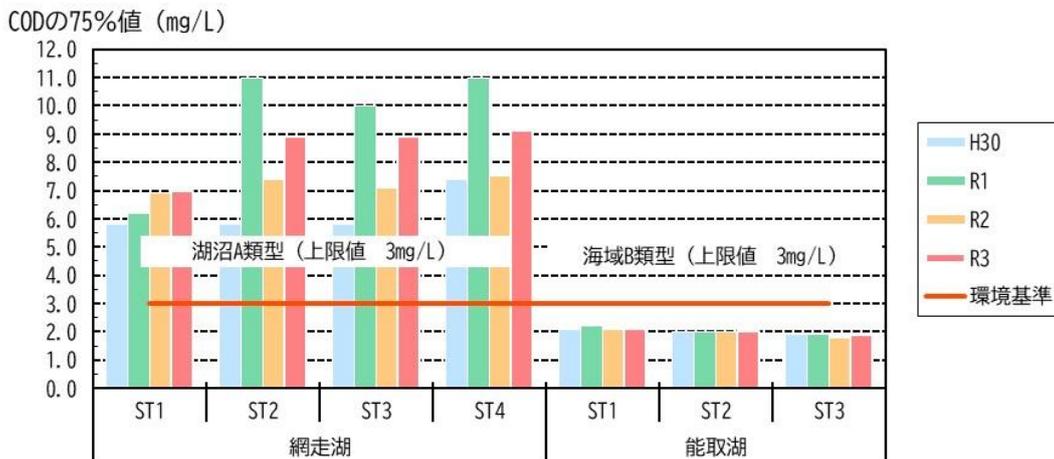


図 3-4 網走湖・能取湖の有機性汚濁の状況

【出典】網走市環境白書（第2編）（令和4年度）

適切な伐採、植林などによる森林更新と森林資源の活用が求められています。

網走市の森林面積は約 16,000ha で、市域全体の約 33%を占めています。このうち、民有林の占める割合が約 66%と高いため、適切な伐採、植林などによる森林更新が求められています。また、二酸化炭素の吸収源としての都市緑地化の推進や、木材利用の普及拡大が求められています。

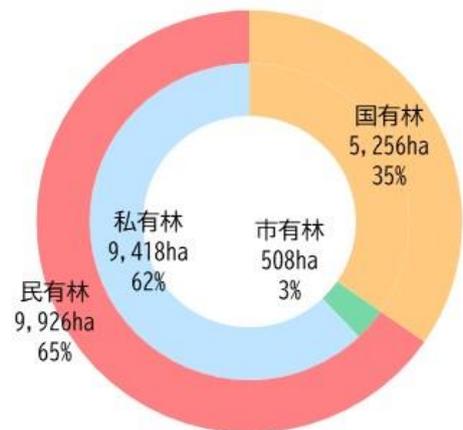


図 3-5 網走市の森林面積の内訳

【出典】網走市統計書（令和4年度）

### 土砂の流出防止を図ることが必要です。

農地からの土砂流出や、河川等への家畜糞尿の流出を防ぐため、沈砂池や堆肥舎の施設などを整備してきました。今後とも関係機関が連携し、啓発活動や災害発生予想時のパトロールを実施し、未然防止を図ることが必要です。

また、地下水汚染の原因となっている過剰な施肥を抑制し、化学肥料の削減や有機質肥料の使用促進を図るなど、環境保全型の農業を進めることが必要です。

### 多様な動植物と共生しながら生息環境を守っていくことが必要です。

網走市は、森林、河川、湖沼、海岸と多様な自然環境に恵まれていることから、多様な動植物が生息しています。一方、農林業においてはエゾシカや野ネズミなどによる被害が拡大し、問題化しています。野生生物の保護とのバランスをとりながら、農林業の被害を防ぐ対策が必要です。

生態系、人の生命や身体、農林水産業への被害をおよぼすおそれがある特定外来生物、外来種の生息が網走市内で確認されています。

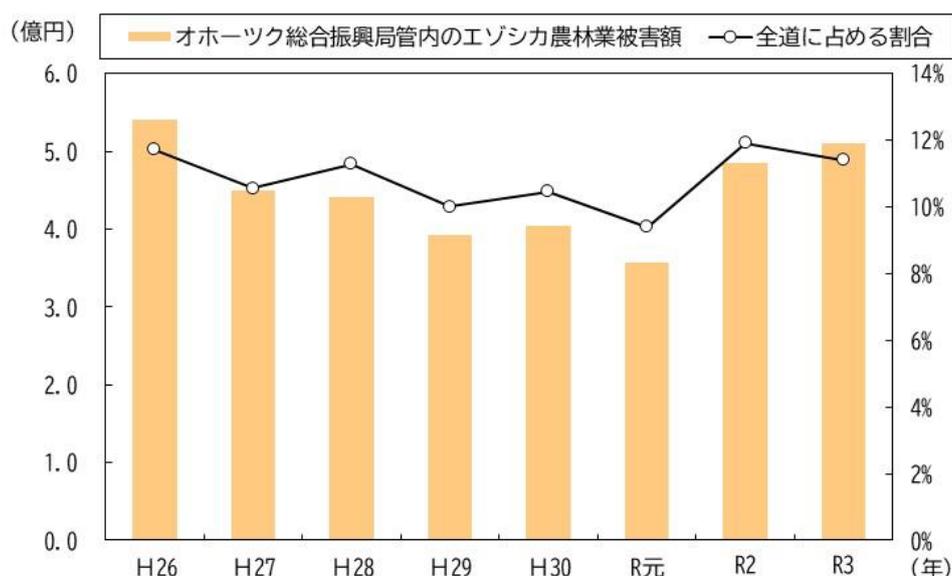


図 3-6 エゾシカによる農林業被害額の推移

【出典】野生鳥獣による被害調査結果（北海道）（令和3年度）

### 保護対象地域の適正な管理が必要です。

網走市には、網走国定公園をはじめ、いくつかの鳥獣保護区が指定されており、これら保護対象地域の範囲や規制の内容を市民に周知しながら、適正な管理を図ることが必要です。

## (2) 基本施策・行動例



### ① 網走の水辺を守る

網走はオホーツク海に面し、網走湖、能取湖、藻琴湖、濤沸湖という4つの湖を持つまちとして、水辺の環境と水質の保全に努めます。

市民は	<ul style="list-style-type: none"><li>● 下水に油・ごみを流さない</li><li>● 川・海・湖に油やごみを捨てない・流さない</li></ul>
事業者は	<ul style="list-style-type: none"><li>● 下水に油・ごみを流さない</li><li>● 川・海・湖に油やごみを捨てない・流さない</li><li>● 漁業資源と漁場環境を守る</li><li>● 官、民、大学の連携による漁業資源、漁場環境の把握と情報の共有、対策の検討を行う</li></ul>
網走市は	<ul style="list-style-type: none"><li>● 官、民、大学の連携による漁業資源、漁場環境の把握と情報の共有、対策の検討を行う</li><li>● 河川の汚濁防止に配慮した改修工事を行う</li><li>● 油漏れを防止する（オイルフェンスの設置など）</li><li>● 濤沸湖と周辺域の環境保全対策や賢明な利用を推進する</li><li>● 融雪期及び災害発生予想時期の各河川及び事業施行地のパトロールを行う</li></ul>

## あばしり環境こらむ

### 「網走川流域の会」を知っていますか？

「網走川流域の会」は、流域の農業と漁業が共に協力し持続的発展を目指す「だいちとうみの会」が中心となり設立された道内でも例を見ない団体です。網走川の上流から下流までのすべての農林漁業協同組合と自治体、民間団体・大学などにより構成されています。

網走川流域の生態系から豊かな恵みを受け、地域の産業が成り立っていることを地域の共通認識とするため、また、この豊かな恵みを次世代に引き継ぐために、網走川流域学習事業や流域一斉清掃を実施しています。

網走川流域の会の Facebook ページでは、取組の様子など情報発信されています。ぜひご覧ください。



詳細はこちら！

網走川流域の会 fb



## ② 網走の森を育てる

健全で豊かな森林の育成を行い、生物多様性の保全や水資源の確保、そして CO<sub>2</sub> の吸収源としてゼロカーボンにもつなげます。



市民は	<ul style="list-style-type: none"><li>● 森林づくりに参加する</li><li>● 木材製品を使用する</li></ul>
事業者は	<ul style="list-style-type: none"><li>● 森林づくりに参加する</li><li>● 森林の適切な管理を行う</li><li>● 木材製品を使用する</li></ul>
網走市は	<ul style="list-style-type: none"><li>● 「網走市森林整備計画」に基づいた森林の有する多面的機能を持続的に発揮できる森林づくりを行う</li><li>● 森林所有者が行う造林に対して補助する</li><li>● 植樹のイベントなどを実施する</li><li>● 木育を推進する</li></ul>

## ③ 網走の生き物の多様性を守る

網走市には、サンゴ草や水芭蕉の群生地、絶滅危惧種のおオワシなど、貴重な動植物が生息しています。多様な動植物と共生しながら生息環境を守ります。



市民は	<ul style="list-style-type: none"><li>● 外来生物を入れない・捨てない・拡げない</li><li>● 環境に配慮した商品等を購入するなど環境保全型産業を応援する</li></ul>
事業者は	<ul style="list-style-type: none"><li>● 外来生物を入れない・捨てない・拡げない</li><li>● 環境保全型産業を推進する（農薬の適正な使用、農業用廃プラスチックの適切な処理など）</li><li>● 家畜糞尿の適正管理</li></ul>
網走市は	<ul style="list-style-type: none"><li>● 市内に生息・飛来する動植物や鳥類の分布・生態調査を実施する</li><li>● 外来種の駆除を行う</li><li>● サンゴ草や水芭蕉の保全に向けた対策を行う</li><li>● 「網走市鳥獣被害防止計画」に基づいた野生鳥獣の適正な管理を行う</li><li>● 施肥量の適正化に向けた支援を行う</li><li>● 「家畜排せつ物利用促進計画」に基づいた家畜糞尿の適切な処理と還元を行う</li></ul>

## 4 空気と水がおいしいまち

市民の生活環境の汚染を防ぎ、安心して楽しく暮らせる、  
空気と水がおいしいまちをめざします。

### (1) 現状と課題

各種事業所での臭気対策を継続して取り組む必要があります。

農業、漁業は網走市を支える大切な産業であり、またその生産物を利用する加工業も主要な産業です。各種事業所における臭気対策により、悪臭に対する苦情件数は年々減少していますが、今後も事業所による自主測定、パトロールによる監視、公害防止協定の締結による保全活動を進めていく必要があります。

表 3-1 悪臭測定結果（嗅覚測定法）

年度	令和3年度（2021年度）		指導基準値 <sup>※1</sup>	
	規制地域内	規制地域外	環境試料（敷地境界）	
測定地点数 <sup>※2</sup>	2	2	規制地域内	規制地域外
指導基準値 超過件数	0	0	—	—
臭気濃度	<10~19	<10~12	—	—
臭気指数	<10~13	<10~11	14	17

※1 事業所との協定に基づく指導基準値であることに留意 ※2 のべ数を表記していることに留意  
【出典】網走市環境白書（第2編）（令和4年度）

地下水の硝酸汚染の改善が必要です。

地下水への窒素の主な汚染源として、農地への過剰な窒素質施肥が挙げられており、その対策が緊急の課題となっています。

土壌や地下水の汚染は、長期にわたってその悪影響が持続しつづけることから、継続的な対策を行う必要があります。

住宅地の静かな環境を守っていくことが求められています。

網走市の住宅地では、生活道路を通過する大型車両や自家用車などによる騒音や振動に対する苦情があります。自動車による交通騒音の環境基準を守り、静かな環境を守っていく必要があります。

環境基準を守っていく必要があります。

網走市では、環境基準が定められている有害化学物質のうち、水質に関わる26項目については、すべて基準値を満たしています。しかし、ダイオキシン類やその他の有害化学物質は、微量であっても健康に悪影響をおよぼすおそれがあることから、定期的な実態調査により環境基準の遵守を図っていく必要があります。

## (2) 基本施策・行動例

### ① おいしい空気を守る

大気汚染の未然の防止を図るとともに、臭気パトロールを行うなど、臭気対策を徹底して、おいしい澄んだ空気を守ります。



市民は	● 悪臭を発生させない
事業者は	● 悪臭を発生させない
網走市は	● ばい煙、粉じんなどを排出する工場・事業場などと公害防止協定を締結し、大気汚染の防止を図る ● 庁舎ボイラーの適正管理を行う ● 定期的な臭気パトロールや臭気濃度分析調査を行う

### ② おいしい水を守る

水道水は湧水を利用しているのでおいしいと評価されています。水環境の保全や、排水対策を徹底して、おいしい水の確保に努めます。



市民は	● 使用済みの食用油は流さずに回収に出す
事業者は	● 廃油の適切な回収、処理をする ● 水質汚染を発生させない
網走市は	● 使用済みの食用油を回収する ● 公共下水道の適正な維持管理を行う ● 公共用水域（河川）の水質調査を行う ● 水質の調査、浄水器の設置の補助 <sup>5</sup> をする ● 水道施設の見学会や広報紙「銀嶺水」をだす

5 網走市では水道がまだ通じていない地域において、硝酸態窒素・亜硝酸態窒素の数値または、一般細菌あるいは大腸菌の数値がそれぞれ飲料水として国が定める基準を超えて検出された世帯を対象に、浄水器、塩素滅菌器等の購入及び設置費用の2分の1以内を助成しています。詳細は[網走市上水道課のホームページ](#)をご覧ください。

### ③ 公害を防ぐ

ゴミの不法投棄やポイ捨て、騒音や振動などによる生活環境の汚染の監視強化と防止に向けた対策に取り組みます。



市民は	<ul style="list-style-type: none"><li>● 周りの迷惑になる騒音を出さない</li><li>● 不法投棄をしない</li></ul>
事業者は	<ul style="list-style-type: none"><li>● 事業活動に伴う騒音と振動対策をする</li><li>● 不法投棄をしない</li></ul>
網走市は	<ul style="list-style-type: none"><li>● 事業者と行政による公害防止協定の締結、定期的なモニタリングと指導を行う</li><li>● 有害物質を含むごみを回収する</li><li>● 庁舎の地下燃料タンク及び地下埋設管の定期点検を行う</li><li>● 自動車交通騒音調査、道路交通振動調査を行う</li><li>● 動物撃退用の爆音機による騒音の軽減を図る</li><li>● ごみ不法投棄やポイ捨てのパトロール、啓発看板を設置する</li><li>● 公害苦情相談窓口を設置し、周知を図る</li></ul>

## あばしり環境こらむ

## ポイ捨てゼロできれいなまちへ

網走市ポイ捨てゼロ条例をご存知ですか？この条例は、市民みんなが協力し合い、ごみのポイ捨てやペットのふんの放置などを「しない・させない」きれいなまちづくりを進めるためにつくりました。

### 【してはいけないこと】

- ・どんな場所にもごみのポイ捨てをしてはいけません。
- ・ペットのふんを放置してはいけません。
- ・屋外で喫煙するときは、吸い殻入れを携行し、歩行中に喫煙をしないこと。

### 【ポイ捨てされないために】

- ・自宅や職場の周りをいつもきれいにしておきましょう。
- ・空き地を持っている人は土地の草刈りや整頓に気を付けましょう。
- ・自動販売機を設置している事業者の人は、付近に空き缶等を回収する容器を設置しましょう。

### 【悪質な違反に関しては】

罰則規定はありませんが、他の法律で罰せられます。

詳細はこちら！

網走 ポイ捨てゼロ



## 5 網走の文化と環境意識が根付いたまち

網走の歴史と文化を大切にしながら、緑豊かで美しいまちづくりと、環境の学びを深め主体的に取り組むひとづくりを進め、網走の文化と環境意識が根付いたまちをめざします。

### (1) 現状と課題

ニーズに対応した公園と緑地・景観づくりとともに、その適正な管理と利用が必要です。

網走市には、オホーツク公園など大規模な公園をはじめ、こまば木のひろばなど自然環境をとりこんだ公園などが整備されています。市民一人当たりの公園面積は、北海道・全国と比較して非常に広く60㎡を超えています。市民の公園に対する意識や年齢層の変化などに対応した公園づくりとともに、適正に管理しながら利用の促進を図ることが必要です。

また、天都山をはじめとして眺望のよい場所が数多くあります。眺望のよい場所の保全や改善などを進める必要があります。

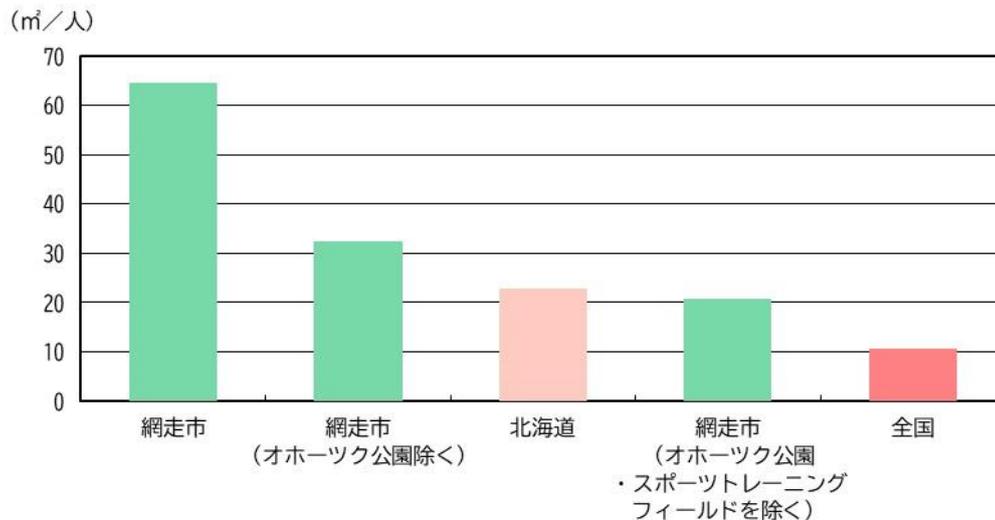


図 3-7 市民一人当たりの公園面積

【出典】網走市統計書

市民自らが生活環境の美化を進める必要があります。

網走市では、ごみのポイ捨てやペットの糞の放置などをしない、させないという日常生活のルールやマナーを守り育てることを目的に、「ポイ捨てゼロ条例」を定めています。この条例の精神を市民に浸透させていくことによって、市民自らが生活環境の美化を進めていく必要があります。

歴史的文化遺産の保全と活用が求められています。

網走市の歴史と文化を伝える貴重な史跡、名勝など、市民の財産として適切な保全と活用を図ることが必要です。

**身近な網走の環境から、地球規模の環境問題まで考え、行動することが必要です。**

網走の身近な自然や第一次産業の体験学習など、網走の環境を活かした学習活動を進めることが必要です。

そして、地球規模の環境問題にまで視野を広げて、日々の生活との関連を認識できるように、市民意識の向上を図り、環境に配慮した行動につなげる必要があります。

**市民や団体が清掃活動などに取り組みやすい環境を整えることが求められています。**

市民、NPO などの市民団体、町内会などがごみ拾いや清掃活動などのボランティアとして活動しやすい環境や世代間交流の場を整えていくことも必要です。

**広域の市町村で協力して取り組むことが必要です。**

網走湖、網走川の汚濁など、河川、湖沼の問題は網走だけの問題ではありません。水系の環境保全に向けては、広域的な視点から、流域の市町村が協力して取り組むことが必要です。

また、家畜糞尿からつくられる堆肥の利用、ごみ処理、エゾシカやカラスによる被害対策など広域的な視点が求められる問題については、複数の市町村の協力による広域的な取り組みを検討することが必要です。

## あばしり環境こらむ

## 網走が誇る史跡、名勝に行ってみよう！

### 古代オホーツク文化のムラ・モヨロ貝塚

オホーツク海にそそぐ網走川の河口に位置する遺跡、モヨロ貝塚。今から約 1300 年前、北の大陸からやってきた人びとは、この網走の地にムラをかまえました。

たくみな航海術と海獣狩猟・漁業の技術をもった彼らの暮らしはオホーツクの豊かな海の恵みに支えられ、それまで北海道では見られなかった「オホーツク文化」とよばれる独自の文化を発展させていきました。(モヨロ貝塚館 HP より)



### 網走国定公園の中心に位置する名勝天都山

「天の都に昇るような」と称えられ、その眺望はオホーツク海から知床連山、西には網走湖や能取湖、さらに遙か南には阿寒の山並みまで見渡すことができます。標高 207m から望む 360 度のパノラマ景観は、北欧の雄大な自然を思わせませす。昭和 13 年 12 月 14 日に国の文化財「名勝」に指定されています。

天都山は、里から頂上までのルート沿いに、文化施設やレジャー施設、個性的な飲食・クラフトショップ・果樹園などがあり、新たな観光エリアとして注目されています。

詳細はこちら！

網走 天空の里



## (2) 基本施策・行動例

### ① 緑豊かな美しいまちをつくる

計画的に整備、配置されている公園や緑地を適正に管理するとともに、市民、事業者、市が協力して緑豊かなまちづくりを推進します。



市民は	<ul style="list-style-type: none"><li>● 緑化・清掃活動に積極的に参加する</li><li>● 自宅の庭に木や花を植える</li><li>● ごみ・ペットの糞の持ち帰りを徹底する</li><li>● ペットの適正な飼育の普及啓発を行う</li></ul>
事業者は	<ul style="list-style-type: none"><li>● 敷地内の緑化をする</li><li>● 建築物の設置・改修で景観面に配慮する</li><li>● 商店街の活性化に向けた取り組みを行う（ショーウィンドーギャラリーなど）</li></ul>
網走市は	<ul style="list-style-type: none"><li>● 「ポイ捨てゼロ・クリーン網走」を目指して、啓発やパトロール活動などを強化し、ポイ捨てをしない環境づくりを進める</li><li>● 「こまば木のひろば」など、網走の自然や水辺と触れあえるような市民の憩いの場を維持管理する</li><li>● 都市計画マスタープランに基づいたまちづくり、緑のネットワークづくりを行う</li><li>● 歩きたくなる街並みをつくる</li><li>● 緑豊かで誰もが活用しやすい場所を確保する</li></ul>

## あばしり環境こらむ はな・てんとのアドプト・プログラム

「アドプト・プログラム」とは、企業団体やグループなどが道路・川・公園といった公共の一定区域と「養子縁組（アドプト）」し、その区域の清掃・緑化など整備を行うものです。

フラワーガーデン「はな・てんと」では、市民が花畑の里親（アドプトプログラム）となり、サルビアやベゴニア等の一年草を定植し、草取りなどの管理をしています。

令和5年度のフラワーガーデン「はな・てんと」は、42団体、協賛1団体の総勢500名によって整備されました。

網走市観光課では、毎年、育成活動をしていただけるグループ・団体・NPO及び事業所を募集しています。ホームページで申込書をダウンロードいただき郵送等で申し込みください。



詳細はこちら！

網走 はな・てんと

【問い合わせ先】  
網走市観光協会  
0152-44-5849



## ② 網走の歴史と文化を守る

網走の歴史と文化を次世代に継承していくために、モヨロ貝塚周辺の環境整備や歴史的な建物、資料の保全の推進を図ります。

市民は	● モヨロ・アイヌ・食文化を学び、大切にする
事業者は	● 歴史的な建物や資料などの保全に協力する
網走市は	● 網走の歴史と文化を伝える建物と資料の保存と充実を図る ● 地方資料を電子化する（図書館で閲覧可能） ● あばしり学講座など、網走の歴史と文化を学ぶ機会づくりや活動を支援する

## あばしり環境こらむ

## あばしり学に参加しませんか？

網走市のエコーセンター2000 では、自然景観や歴史的資源を活用するとともに、文化・産業や観光について、楽しみながら学べる「あばしり学」をはじめ、子どもから大人・高齢者までが学べる、様々な講座を実施しています。

小学生・中学生・高校生・大学生を対象とした連続講座「あばしり学ファンコース」と、どなたでも1講座から気軽に参加でき、あばしりを知れる「あばしり学講座」があります。

「子ども」も「大人」も みんな一緒に、あばしりのこと、もっと知って、もっと楽しんでみませんか？

【問い合わせ先】  
網走市教育委員会  
社会教育課 生涯学習係(エコーセンター2000内)  
TEL 0152-43-3705

詳細はこちら！

エコーセンター 講座



### ③ 環境について学ぶ機会を増やす

環境に対する理解を深め、自ら実践行動できる人づくりに向けて、学校や職場、野外活動など様々な場において環境学習を推進します。

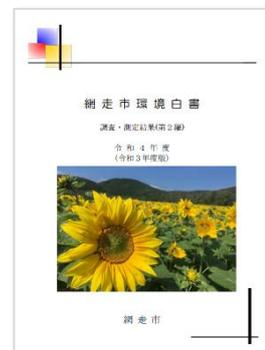


市民は	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自然観察会への参加など自然とのふれあいを大切にする</li> <li>● 環境を守る市民活動に参加する</li> <li>● 学習会や講習会などに積極的に参加する</li> </ul>
事業者は	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境学習を実施する</li> <li>● 環境を守る市民活動を支援する</li> </ul>
網走市は	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境に関する情報を収集し、情報提供する（網走市環境白書の作成、公開）</li> <li>● 環境に関する学習会や講習会や環境展を開催する</li> <li>● 野鳥観察会や「ふれあい動物園」の開設など動植物とふれあう機会をつくる</li> <li>● 市民農園「長寿園」、大曲湖畔園地の観光農園で収穫体験の機会をつくる</li> <li>● エコツーリズムを推進する</li> <li>● ボランティア活動の支援とガイドの養成を行う</li> <li>● 最大の環境破壊である戦争の禁止に働きかける平和都市宣言事業を推進する</li> </ul>

## あばしり環境こらむ 網走市環境白書って何？

白書では、市の生活環境や自然環境、廃棄物などについて現況を説明するとともに、市が行っている環境の保全や創造に関する施策の推進状況を毎年網走市のホームページで公表しています。

項目	内容
目次	
1. 大気関係	スパイクタイヤ調査結果、法・条例に基づく届出状況
2. 水質関係	河川・湖沼・海域の水質調査結果、地下水の水質測定結果など
3. 騒音・振動関係	自動車交通騒音・道路交通振動測定結果、法・条例に基づく届出状況
4. 悪臭関係	機器分析法・嗅覚測定法による測定結果、法・条例に基づく届出状況
5. ダイオキシン類関係	河川・湖沼・海域のダイオキシン類測定結果、法・条例に基づく届出状況
6. 公害苦情関係	公害の種類別苦情件数



詳細はこちら！

網走市環境白書



#### ④ 市民、事業者、市が連携する

市民、事業者、市の3者で話し合う機会を増やすとともに、環境の保全に取り組む市民活動や事業者の活動への支援を行います。



市民は	<ul style="list-style-type: none"><li>● 市民団体として活動を行う</li><li>● 花いっぱい運動や町内会清掃など地域における環境改善の活動へ参加する</li></ul>
事業者は	<ul style="list-style-type: none"><li>● 網走市エコ事業所の認定を受ける</li><li>● 花いっぱい運動や町内会清掃など地域における環境改善の活動へ協力する</li></ul>
網走市は	<ul style="list-style-type: none"><li>● エコ事業所の認定数の拡大に向けて啓発する</li><li>● 環境保全に向けた各種調査支援、関係機関との調整・協議を行う</li><li>● 清掃活動など、ボランティアによる環境保全活動を支援する</li><li>● フラワーガーデン「はな・てんと」の造成など、花いっぱい運動を推進する</li></ul>

### あばしり環境こらむ

### ボランティアの清掃活動をサポートします

市では「ボランティア清掃専用袋」を無料で配布しています。

町内会やボランティアでの清掃活動で集めたごみにご利用ください。清掃活動やボランティアでの清掃活動を実施するときは、事前にご相談ください。

不法投棄物を活動中に発見された場合は、集めずに市へ連絡してください。



詳細はこちら！

網走 ボランティア袋

